
運命の人

慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命の人

【ISBNコード】

N5817D

【作者名】

慶太

【あらすじ】

ある一人の男の恋愛歴です。彼の女性に対する見方が書き表されています。

(前書き)

つまらぬ

俺にとつて女はただの玩具だ

ある程度可愛がつて欲しいものの一つでも買ってやれば
直ぐいい顔する中には頑丈な奴もいるけどそういう奴に限つて意外
と脆い

ただ優しくして相手の心を満たしてやる『こんな私で・・・』なん
てやる前から

テンションの下がる言葉を吐く女には「君でいいんじゃなくて君が
いいんだ」なんてセリフで女を喜ばせる。こんな古い言葉で同じこ
と繰り返してるので

恋愛ゴッコは簡単にできる。今まで純粋に恋したことなど無い
きつとあの時からそう、17の春、彼女に恋をしなければきっと今
より女を見る目が変わつていただろうその女性は

保健室の保健婦で俺好みの甘い香水を受けた如何にも女性らしい人
だった髪はセミロングで何時も一つ縛りで黒髪と紺のエプロンが似
合つ華奢な人だった

母親を早くに亡くした俺は多分、何所かで彼女に母親の面影を抱い
ていたのだろう

生徒には何時でも万弁の笑みで優しく接している時に叱つたりする
そんな彼女に俺はただ惹かれていたそんな反面相手にされないことも
理解していた。けれど当時そんな俺にはその気持ちを止めること
が出来なかつた。毎日正門まで来ると保健室の窓を見る

教室から遠回りなのに懃々ドアの開いている保健室の前を通る其処
に椅子に座つて机に新聞等を広げて目をやる彼女の姿。そして、長
い休みには他のやつらと同じに保健室へ紛れ込む

勿論授業をサボつて彼女の所へ行くこともある

そんな時は下手な芝居でも打つてベットの上で天井とにらめっこ
休み時間になるといい加減にしなさいと言つ感じで彼女が現れる

そんな彼女が好きだった・・・。

あの日までは俺は髪結いを彼女の誕生日にプレゼントした
一緒に探させた女友達にはしつこく聞かれても何も答えずに

授業をサボつて彼女に告白した

ただ・・・片思いで終わらせたくなかつた振られてもいいと思つた

(後書き)

つまらんかったろ?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5817d/>

運命の人

2011年1月13日01時23分発行